

Adobe Acrobatサービス（DC API）製品固有利用条件

2024年11月19日公開。

本製品固有利用条件は、お客様によるAdobe Acrobatサービスの使用に適用され、www.adobe.com/go/terms_jpに記載されているアドビ基本利用条件（以下「**アドビ基本利用条件**」という）に、参照により組み込まれます。本製品固有利用条件とアドビ基本利用条件を総称して以下「**本条件**」といいます。本製品固有利用条件で定義されていない用語は、アドビ基本利用条件に定義されるものと同じ意味を有します。アドビ基本利用条件と本製品固有利用条件との間に矛盾がある場合は、本製品固有利用条件が優先するものとします。

本製品固有利用条件は、企業によるDocument Cloud Servicesへのアクセスおよび使用を規定します。アドビの開発者サイトから無料レベルの認証情報を使用してDocument Cloud SDKまたはAPIにアクセスして使用する場合、アクセスと使用には本製品固有利用条件ではなく、アドビデベロッパー利用条件が適用されます。

1. 定義

1.1 「**API**」とは、ソフトウェアコンポーネントの相互作用を特定するルーチン、プロトコル、およびツールの一式であるアプリケーションプログラミングインターフェイスを意味します。APIは、ヘッダーファイル、JARファイル、ヘッダーファイルで特定され、オブジェクトコード形式のプラグインのサンプルコードおよび関連情報で実証されるSDKプラグインAPI、および/またはアドビがDocument Cloud Servicesと相互運用するお客様ソフトウェアと無修正統合するためにSDKの一部として含めたライブラリとして指定することができます。

1.2 「**ドキュメント**」とは、操作の結果得られるデジタル出力を意味します。

1.3 「**Document Cloud Services**」とは、アドビが一般提供している特定のドキュメントのソリューションであって、SDKおよびサービスAPIを介して、PDFサービスAPIを含むがこれに限定されない、幅広いPDF機能およびその他のドキュメント機能の使用とアクセスを許可します。

1.4 「**ドキュメントトランザクション**」とは、ドキュメントが生成される操作を実行するための最初のエンドポイントリクエスト（APIコール）を意味します。ドキュメントトランザクションの目的上、「**ページ**」とは、物理的な印刷出力としてレンダリングされるかのように、特定のファイルタイプ（DOCX、PPTX、PDFなど）のドキュメントのセグメント化または分離されたシートを意味します。

1.5 「**操作**」とは、ドキュメントトランザクションテーブル（www.adobe.com/go/dcsdk_doc_services_meter_jpまたはその後継サイト）で利用可能なDocument Cloud Servicesの機能と能力のいずれかを意味し、そこに記載されているメトリックと使用制限が適用されます。

1.6 「**SDK**」とは、<https://developer.adobe.com/>、またはその後継サイトのアドビ開発者ポータルを通じて、アドビがDocument Cloud Services向けに一般的に提供するソフトウェア開発キットを意味します。

1.7 「サービスAPI」とは、<https://developer.adobe.com/>、またはその後継サイトのアドビ開発者ポータルを通じて、アドビが一般的に提供するDocument Cloud Servicesに電話する、またはリクエストするためのAPIを意味します。

1.8 「お客様ソフトウェア」とは、お客様がSDKまたはサービスAPIを使用して開発するソフトウェアアプリケーション、プログラム、またはその他の技術を意味し、(A) Document Cloud Servicesへのアクセス、機能または相互運用を意図しており、(b) Document Cloud Services自体を超える実質的な機能と価値を追加するものです。誤解を避けるために付言すると、お客様ソフトウェアは、Document Cloud Servicesと相互運用するお客様のホステッドサービスから構成される場合があります。

1.9 「お客様のユーザー」とは、お客様ソフトウェアを使用する個人、またはお客様ソフトウェアを通じてDocument Cloud Servicesに間接的にアクセスして使用することができるアカウントを有する個人を意味します。

2. 契約期間および終了

2.1 本製品固有利用条件は、本条件の規定に従いお客様またはアドビによって終了されるまで適用されます。

2.2 アドビ基本利用条件の「存続」条項に加え、契約期間および終了に関する条項、サービス固有の条件、セキュリティ、およびエンドユーザーの個人情報に関するお客様の義務は、本製品固有利用条件の期間満了または終了後も存続します。

3. お客様ユーザーの個人情報

3.1 **お客様の責任** アドビとお客様の間では、Document Cloud Services.に関連して使用および送信されるお客様ユーザーのあらゆる個人情報について、お客様が一切の責任を負います。お客様は、以下の義務を有します。

(A) お客様ユーザーの個人情報に適用されるすべてのデータ保護およびプライバシー法令を遵守すること。これには、必要に応じて、同意を取得し、維持することが含まれます。

(B) お客様ユーザーの個人情報に関する行為または不作為に関連して、お客様ユーザーが当社に対して申立て、訴訟、または司法手続を提起した場合、それらについて当社を補償すること。

3.2 **お客様ユーザーのセンシティブな個人情報** アドビ基本利用条件の「センシティブな個人情報」条項は、お客様がDocument Cloud Servicesにアップロードし、またはDocument Cloud Servicesで処理するファイルの内容には適用されません。お客様によるDocument Cloud Servicesの使用に関連して、以下のすべての規定が適用されます。

(A) お客様は、センシティブな個人情報の処理に関するあらゆる適用プライバシー法令を遵守する責任を単独で負います。当社は、お客様のサービスプロバイダーとして、お客様による要件遵守を支援する機能をDocument Cloud Services内で提供する場合がありますが、準拠する機能を実装する責任はお客様にあります。

(B) お客様は、該当する場合、「1998年児童オンラインプライバシー保護法」を遵守する責任を単独で負います。これには保護者の同意を得ずに13歳未満の子供から情報を収集しないことが含まれます。

(C) 「医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律」および「経済的および臨床的健全性のための医療情報技術に関する法律」に規定されているとおり、お客様は、保護医療情報を電子的その他の方法で収集、処理、または保存してはなりません。

(D) 「支払いカード産業データセキュリティ基準」(以下「PCI DSS」という)が適用される場合、その遵守については、お客様が一切の責任を負います。PCI DSSは、たとえデータが暗号化されていても、認証後のカード検証コードや金額等のセンシティブな認証データをDocument Cloud Servicesを使って保存することを禁じています。本条項で使用する用語は、PCI DSSで定義されているものと同じ意味を有します。

4. ライセンス許諾と制限

4.1 ライセンス許諾

(A) アドビは、ライセンス期間中、Document Cloud Servicesの特定の機能および能力がお客様のソフトウェア内に埋め込まれ、または統合されている場合に、お客様ユーザー向けにお客様ソフトウェアとの統合を構築することのみを目的として、Document Cloud Services (SDKおよびサービスAPIを含む)を使用する非独占的かつ譲渡不可能なライセンスをお客様に付与します。

(B) ライセンス期間中、<https://developer.adobe.com/document-services/docs/overview/limits/>に記載されている運用メトリック表と使用制限に従って、購入したライセンス取引に関するDocument Cloud Servicesへのアクセスが許可されます。ライセンス期間中にライセンス取引を超えて使用されるドキュメント取引は、事前に購入する必要があります。「**ライセンスされたトランザクション**」とは、ライセンスされたドキュメントトランザクションの数量を意味します。

4.2 **ライセンスの制限事項** ライセンスの適用範囲は、以下の要件と制限によって限定されています。

(A) お客様は、Document Cloud Servicesまたはそのコンポーネントのいずれかを独立したアプリケーション、製品、またはサービスとして配布、ホスティング、サブライセンス、提供、アクセスを許可、または利用可能にすることを禁じられています。お客様がソフトウェア外でSDK、サービスAPI、およびDocument Cloud Servicesを使用することを許可することはできません。

(B) サポートされているバージョンのSDKおよびサービスAPIを使用する必要があります。SDKまたはサービスAPIへのアップデートまたはパッチのリリースがあることをアドビから通知された場合、お客様は、該当する場合、お客様の費用負担で、速やかに最新版のSDKまたはサービスAPIを実装し、使用しなければなりません。サポートされているバージョンを実装および使用しないと、ソフトウェア内のサービスAPIが無効になったり、セキュリティの脆弱性が増大したりする可能性があります。

5. セキュリティ

5.1 お客様の責任 お客様は、Document Cloud Servicesのセキュリティ機能を設定および利用して、プライバシー、セキュリティおよびデータ保護に関する適用法令に基づく、お客様ユーザーに対するお客様の義務を果たす責任を負います。お客様は、Document Cloud Servicesからお客様ユーザーに電子メールで送られるファイル、Document Cloud Servicesからダウンロードされるファイル、またはDocument Cloud Servicesの統合機能を介してアドビ以外のシステムに転送されるファイルのセキュリティについて責任を負います。アドビは、Document Cloud Services内で当社の直接の管理下にあるお客様コンテンツのセキュリティ、機密性、および完全性を保護するために、商業的に合理的な管理面、物理面、および技術面の保護措置を実施します。

5.2 コンプライアンス認証 Document Cloud Servicesのコンプライアンス認証は、<http://www.adobe.com/jp/trust/compliance/compliance-list.html>、またはその後継webサイトに掲載されています。お客様のコンテンツが、特定のコンプライアンス認証、基準、または規制の要件に従って処理または保存する必要がある場合、必要なコンプライアンス認証、基準、または規制が上記webサイトのリストに含まれている場合限り、お客様はDocument Cloud Servicesを使用して当該コンテンツを処理または保存することができます。リストに含まれているコンプライアンス認証、基準、または規制については、Document Cloud Servicesの使用が法的義務を満たすうえで役立ちます。これにはサービスプロバイダーの使用に関連する事項を含みますが、これに限定されません。お客様は、(a) Document Cloud Servicesがお客様のコンテンツに適用されるすべての要件を満たしていることを確認し、かつ (b) お客様のコンテンツに適用される法的義務を遵守することについて、単独で責任を負うものとします。

6. メンテナンスとサポート Document Cloud ServicesのSDKおよびサービスAPIサポートは、http://www.adobe.com/go/dcsdk_doc_services_version_jpにあるバージョン管理およびサポートポリシーによって管理されます。

7. アドビデベロッパー利用条件に対するお客様の同意 お客様がアドビ開発者ポータルにアクセスして使用するための開発者認証情報を作成すると、そのユーザーが組織に代わってアドビデベロッパー利用条件に同意する権限を持つことに同意したことになります。

8. 雑則

8.1 地域によるサービスの制限 制限対象国での使用がアドビによって明示的に許可されていない限り、お客様は制限対象国でDocument Cloud Servicesを使用することはできません。「制限対象国」とは、中国本土、ロシア、および現地の法律によってアクセスまたは使用が制限されているその他の国を意味します。

8.2 調整 お客様は、お客様の使用に起因するシステムリソース需要の急増（以下「スパイク」という）を管理するための計画をアドビと共同で策定することに同意するものとします。これには、サービスAPIの電話回数がDocument Cloud Servicesに悪影響を及ぼす可能性があるアドビが考える場合が含まれますが、これに限定されま

せん。共同策定が行われない場合、お客様は、アドビが当該スパイクを管理するためにお客様のDocument Cloud Services関連のトランザクションを調整またはその他の方法でキューイングすることに同意するものとします。

8.3 通知 お客様は、Document Cloud Servicesのすべてのコピー、修正、または統合において、アドビの著作権通知、免責事項、またはその他の所有権通知または帰属についての声明（それらがDocument Cloud Servicesの一部として提供されるSDKまたはドキュメンテーションに表示される可能性があるため）を維持および/または再製することに同意します。かかる文言は、http://www.adobe.com/jp/products/eula/third_party.htmlの「Readme」ファイルまたは「License」ファイルまたはサードパーティライセンス条項に記載されています。

8.4 保証の否認 お客様は、関連する製品もしくはサービスを含むお客様ソフトウェアのパフォーマンスをアドビが推奨した、または金銭もしくは品質の保証を行ったと、いかなる第三者に対しても表明しないものとします。お客様は、本条件の締結により、収益、売上、その他の報酬の予想額を受け取ることができると期待しないことに同意するものとします。本条件の終了時、アドビは、予期された売上、支出、投資、リース、またはその他の約束から生じる報酬、償還、損害賠償、利益の喪失、またはその他の支払いに対して、一切責任を負いません。

8.5 API認証情報 お客様は、API認証情報のセキュリティと統制を維持するための合理的な措置を講じる責任があります。アドビは、API認証情報の漏洩によりお客様が被る可能性のあるいかなる損失についても一切責任を負いません。